



## 失いかけた家族の絆を繋ぐ、釜石ラーメン。

あらすじ

釜石でラーメン屋「小川食堂」を営む父と妹。

3年前に家を飛び出して音信不通だった長女・正実(井桁弘恵)が突然帰ってくる。戻って早々「おめえなんかにお母ちゃんの味は出せねえ!」と厨房に立つ妹・仲良(池田朱那)に文句を言い始めた。「ふらっといなくなったかと思ったら、今度は急に帰ってきて勝手なことを言うな!」と反発する仲良。

東日本大震災で行方不明になった母・正恵(佐伯日菜子)の代わりに、父・剛志(利重剛)が店を継いでいた。仲良は病気がちな剛志を助けて厨房に立っていたのだ。

店を置もうとまで言い出した正実の言動に、仲良のストレスは日に日に溜まっていく。姉妹のイライラが激しく衝突した日、剛志がついに倒れてしまい、入院することになる。その知らせを聞いて、町の人たちが入れ代わり立ち代わり剛志の見舞いに訪れた。この時、正実は「小川食堂」が町の人たちにとってとても大切な場所になっていたことを知る。

そんな折、人気ユーチューバー・マリリン(木月あかり)が「小川食堂」に現れる。東北ご当地ラーメンのベストテン企画で「小川食堂」のラーメンを取り上げたいと言うマリリン。奮起した正実は「よし! おまえらに最高の一杯を食わせてやる!」と挑戦を受けた。こうして、姉妹は父の手を借りずに、二人で母の味に迫るべく、最高の一杯を目指して奮闘が始まる!

QRコード  
予告編は  
こちら



今関あきよし 監督

「もっともっと釜石に笑顔を届けたい」

ラーメンは人を元気にしてくれる。麺もスープも具も一体となって元気をくれる!

2014年に初めて釜石に降り立って、この地で映画を作りたいと思い立った。

まちを歩くとまだまだ震災の傷跡だらけだったけど、出会う人は皆笑顔で前向きな人ばかりで驚いた。もちろん内面では色々と抱え込み背負い込んでいることがあったと思う。人の心の中は見えないけど「映画」なら「心」を描くことができる。心の底から笑ったり泣いたり、みんなで気持ちを一つにして感動できるような映画を作りたい。そしてこの釜石で上映したい!

そんな思いで、8年間、何度も釜石に通い続けてやっと完成しました。ぜひたくさんの方に見ていただけます。

佐々木 琉 さん

釜石出身の若手俳優!

出演のきっかけは、SNSで今関監督が釜石を舞台にした映画の出演者を募集している書き込みを見つけた時でした。

映画の題材が“釜石ラーメン”ということで、釜石出身の役者でラーメン屋の孫は僕しかいないなと思い、居ても立っていられず監督に連絡しました。

出演が決まり、まさか自分が映画撮影で釜石に帰る日が来るなんて思ってもいなかったので、とても感慨深かったです。また、撮影を通して改めて釜石の人たちの温かさを感じることができました。

釜石の魅力が随所に散りばめられた作品となっており、ぜひ皆さんにご覧いただければうれしいです。

# 釜石ラーメン物語 完成披露上映会を開催します

映画「釜石ラーメン物語」がこの春に釜石で撮影されました。  
来夏の公開に先立ち、一足早い完成披露上映会を開催します。

12月3日(土) 14時 開場13時  
釜石市民ホール TETTO

入場料 一般1,000円／高校生以下500円(前売り・当日共通)

プレイガイド

釜石市民ホール TETTO、イオンタウン釜石、  
釜石観光総合案内所、カワトク、e+「イープラス」

全席  
自由

上映後には、主演の井桁弘恵さんと今関あきよし監督、父親役の利重剛さん、釜石出身俳優の佐々木琉さんによるトークショーも開催!



## 主演女優に聞いてみた!

井桁 弘 恵  
Hiroe Igeta

1997年2月3日生まれ、福岡県出身。2017年「ZIP!」にてリポーターを務めた後、18年「ゼクシィ」11代目CMガールに。22年はドラマ「メンタル強め美女白川さん」で連ドラ初主演を務めた他「おしゃれクリップ」MC、「ヒルナンデス」水曜レギュラーなどバラエティでも活躍中。

Q 撮影を通して感じた釜石の印象は?  
元々、釜石はラグビーのまちという印象があり、知つていました。撮影で訪れた際には、穏やかな空気の流れるところだなと思いました。また、新しい建物と昔ながらのお店が共存していて不思議な安心感がありました。

Q 映画の見どころは?  
震災をきっかけにバラバラになってしまった家族が、釜石ラーメンを通してどう成長していくのか。どう、お母さんの死を乗り越えていくのか、というところを見ていただけたらと思います。また、伊藤家を温かく見守るだけです。

Q 「釜石ラーメン」を食べてみて  
釜石に来るまで釜石ラーメンは知らなかつたですが、とても美味しかつたです。また、見た目のきれいさに驚きました。あつさりしているのかと思いきや、しっかりと旨味があつて食べごたえがあつて。極細のちぢれ麺にスープがぐつと絡んで、気づいたらあつという間に食べ終わつていました。

Q 映画のストーリーを受けたか?  
家族、姉妹の関係が釜石ラーメンをきっかけにゆっくりと修復されていく様子にぬくもりを感じました。私も姉との2人姉妹で共感する部分があつたので、色々な方に同じように共感していただけるんじゃないかなと思いました。